

ギニア

主要データ

国名〔英名〕	ギニア共和国 [Republic of Guinea]
面積(km ²)	245,857
海岸線延長(km)	320
人口(百万人)	10.1
人口密度(人/km ²)	40.9
GDP(百万US\$)	4,517
一人当りGDP(US\$)	439
一人当り銅使用量(kg/人)	※
主要鉱産物：鉱石(千t)	ボーキサイト(19.3百万t)、金(19.9t)
主要鉱産物：地金(千t)	NA
鉱業管轄官庁	鉱山省(The Ministère des Mines)
鉱業関連政府機関	鉱業開発投資促進センター(Centre de Promotion et de Développement Miniers)
鉱業法	Mining Code (鉱業法)
ロイヤルティ	NA
外資法	NA
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	NA
鉱業公社	NA
鉱業活動中の民間企業	Rio Tinto (英・豪)、Anglo Gold Ashanti (南ア)、United Company Rusal (露)等
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・暫定軍事政権がUC RusalはFriguaアルミ製錬所を不当に安い価格で購入したとして法廷闘争の構え。
2008年のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・2008年12月22日、コンテ大統領が病気により死去。その翌23日に、ムサ・ダディス・カマラ大尉を中心とする「民主主義と発展のための国民評議会(CNDD)」がクーデターにより政権を掌握し、暫定軍事政権が発足。鉱業法と鉱山契約の見直しを宣言。 ・Rio tintoのSimandou鉄鉱プロジェクトの北側半分の鉱区の権益が、プロジェクトの進行が遅れていることを理由として取り消された。

1. 鉱業一般概況

ギニアは、世界有数のボーキサイト生産国であり、ボーキサイトとアルミナの輸出が、輸出の60%以上をしめ、税収に占める割合は、少なくとも20%を占めている。ボーキサイトは世界最大級の埋蔵量を誇り、74億tである。他の鉱産物としては、セメント、ダイヤモンド、金、岩塩が生産されている。また、黒鉛、鉄鉱、石灰岩、マンガン、ニッケル、ウランが確認されており、鉄鉱については、埋蔵量は1百億tと

も言われている。

鉱山省(Ministère des Mines)は、鉱業分野の監督機関である。ギニアの鉱業法(Mining Code)は1995年と1998年に改正されている。鉱業関係の投資を扱う鉱業開発投資促進センター(Centre de Promotion et de Développement Miniers)が鉱業法を基に設立されている。

2006年2月と6月にギニアの主な労働組合連

合が、賃上げ、組合のギニア経済と社会政策策定への参加、インフレ抑制を求めて、同国初の全国統一ストライキが行われた。2007年1月には、ギニアの貧弱な経済状況と大統領の辞任を要求して3度目のストライキが行われた。このストライキにより、ボーキサイトとアルミナの生産が一時停止した。操業停止による損失は、一日あたりの損失は100万US\$とされている。

Kindia ボーキサイト鉱山のレポートによれば、ストライキの期間中は、スタッフ送迎のバスには軍による警護が必要であるほど混乱した。2007年1月27日にストライキは終了し、その後、すぐにボーキサイトとアルミナの輸出は再開されたが、このストライキで、少なくとも60人が死亡している。

2007年2月に新首相が選任され、それに続き、政府は財政調整、経済の安定、統治の改革のための新・経済計画を発表し、構造改革のプログラムに着手した。IMFや世界銀行の支援を受けて、2007年7月から2010年6月の間に鉱業法と鉱業契約の見直し、特に鉱業税制の見直しが進められていた。

しかしながら、2008年12月22日、コンテ大統領が病気により死去。その翌23日に、ムサ・ダディス・カマラ大尉を中心とする「民主主義と発展のための国民評議会(CNDD)」がクーデターにより政権を掌握し、暫定軍事政権が発足。国際社会はクーデターを非難し、African Union(AU)や、Economic Community Of West African States (ECOWAS)等はギニアの参加資格

を凍結している。

また、暫定軍事政権は、新しい体制が確立するまで全鉱山の操業停止を命じたが、翌日にはその決定は取り消されている。その後、カマラ大尉は、鉱業法と鉱業契約の見直しを宣言。また、軍事政権は、前鉱山大臣の逮捕や鉱山閉鎖をちらつかせて各鉱山会社への圧力を強めている。また2009年4月1～8日のUC RusalのFriguaアルミ製錬所の賃上げをめぐるストライキは、同製錬所の賃金水準は同国ではトップレベルであり、賃上げがないままにストライキが終了したことから、同製錬所の奪還を狙う同軍事政権による主導で行われたといわれている。軍事政権は、同製錬所は不当に安い価格で売却されたと主張し、法廷闘争を行う構えである。なお、軍事政権による鉱山会社への圧力は弱まってきているという報道もあるが、鉱山各社は、同国の状況を注視している。

2. 鉱業政策の主な動き

- ・ 2008年12月 軍事政権発足直後、全ての鉱山操業停止を命じるが翌日には取り消された。
- ・ 2008年12月 鉱山省は、全ての鉱業契約は取り消すが、契約継続を前提に、鉱業契約を見直すことを発表
- ・ 2009年2月 鉱山省は鉱業権の見直しは、12月末の国政選挙実施まで遅れる見込みであることを発表

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 1. ギニア：金属鉱石生産量

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)
ボーキサイト(千t)	18,783.8	18,519.0	19,296.0	4.2
金(t)	11.0	12.6	19.9	57.9

(出典：WMSY 2009)

(2) 主要非鉄金属地金生産量

該当データなし

(4) 主要金属輸出量

該当データなし

(3) 主要非鉄金属消費量

該当データなし

(5) 主要非鉄金属輸入量

該当データなし

4. 鉱山・製錬所状況

表 2. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(権益：%)	鉱種	生産量(千 t)	備考
Boke(Sangaredi) ボーキサイト鉱山	Halco(Mining) (51%) ギニア政府 (49%)	ボーキサイト	13,180	2008 年
Fria ボーキサイト鉱山	UC Rusal (100%)	ボーキサイト	2,500	2007 年推定
Kindia ボーキサイト鉱山	UC Rusal (100%)	ボーキサイト	2,500	2007 年推定
Lefa Corridor 鉱山	Crew Gold Corp (100%)	金	6.4t	2008 年 (金生産量： 197,556oz)
Siguiri 鉱山	AngloGold Ashanti Ltd. (85%) ギニア政府 (15%)	金	12.6t	2008 年 (金生産量： 392,000oz)

(出典：Raw Material Data、Metals Economics Group)

表 3. 製錬・精製所生産状況

	権益所有企業(権益：%)	鉱種・形態	生産量(千 t)	備考
Kimbo (Friguia) アルミナ精錬所	UC Rusal (100%)	アルミナ	595	2008 年

(出典：Raw Material Data)

5. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

該当データなし

(2) 日本企業による投資状況等

2006 年 1 月、三菱商事は、同国で日本企業初のボーキサイト独占探査権(期間：3 年間)を取得している。

6. その他トピックス

- ・ 2008 年 12 月上旬、Rio tinto は、プロジェクトの進行が遅れていることを理由として、60 億 US\$ を投入した Simandou 鉄鉱プロジェクトの北側半分の鉱区の権益が取り消されている。

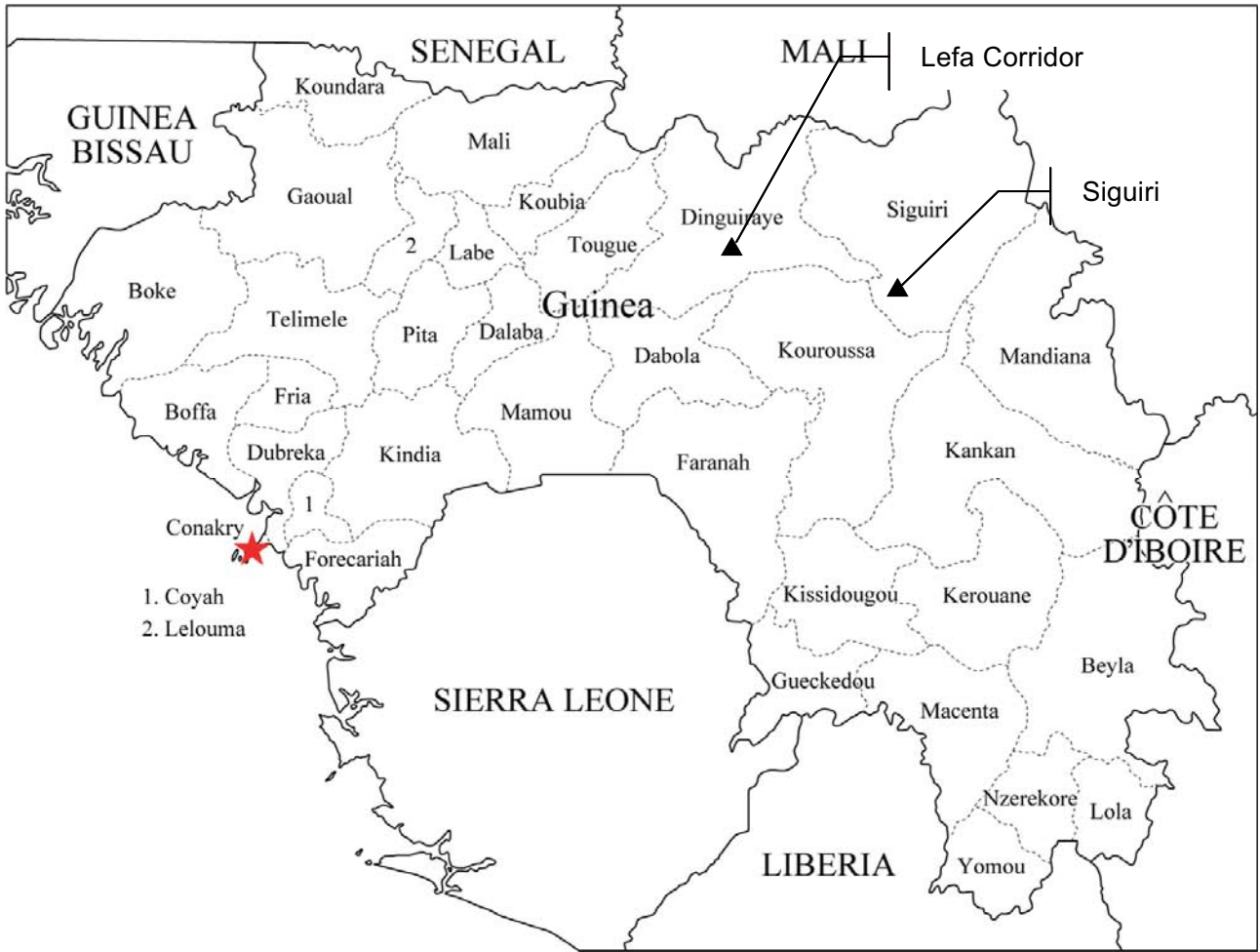


図1. ギニアの主要鉱山の位置図

(2009. 8. 28/ロンドン事務所 竹谷 正彦)